

◆テーマ4 ～未来へ語りつぐ歴史のまち蓮池創生事業～

評価委員氏名【 】

	評価項目	自己評価(記述)	評価委員による評価	A～Dの記号を記入	評価理由 (具体的に御記入ください)
地域連帯力をつくる	(1)地域住民同士の世代間交流、協力体制などを図っているか。	小中一貫校芙蓉校と連携した「地域文化の伝承教室」をはじめ、「観月会」、「鼓の胴の松飾り教室」などのイベントで地域の大人と子ども達との交流、協力体制を推進した。	A 十分に図っている B 概ね図っている C やや不十分に感じられる D 抜本的な見直しが必要		
	(2)地域の各種団体やNPO等との連携、協働はできているか。	各種事業において、地域の各種団体に企画から、準備、実施、振り返りまでに参画してもらい連携を図った。NPOや蓮池町地域連携協議会の各部会との連携については、十分に図れなかった。	A 十分にできている B 概ねできている C やや不十分に感じられる D 抜本的な見直しが必要		
地域教育力の向上	(3)地域の資源(人材、史跡、企業等)を活用する場を提供できているか。	郷土史本「伝えたい蓮池」等の作成を通じて、地域の歴史に詳しい人材や町内の史跡等を活用し、「地域文化伝承教室」、「観月会」、「売茶翁の駅」等で、積極的に地域ボランティアの活用を図った。	A 十分に提供できている B 概ね提供できている C やや不十分に感じられる D 抜本的な見直しが必要		
	(4)地域人材の発掘、育成をねらいとした取り組みを行なっているか。	「ボランティアガイド養成講座」や「地域文化伝承教室」等の事業を通じて、積極的に地域人材の発掘、育成を図った。	A 充分に取り組んでいる B 概ね取り組んでいる C やや不十分に感じられる D 抜本的な見直しが必要		
課題解決力を高める	(5)地域課題の把握、解決に向けた取り組みを行っているか。	過疎化、高齢化により活気を失った町の地域活性化を図るために、地域伝統文化の伝承、歴史と文化のまちづくりを通して、住みたい町としてのPRや地域人材発掘に向けた取り組みを行った。	A 様々な事業に関連づけて取り組んだ B 複数の事業で取り組んだ C 1事業で取り組んだ D 全く取り組んでいない		
	(6)地域課題解決のための学習の場を提供し、住民の意識や活動の変容へとつながっているか。	次世代担う子ども達への地域文化の伝承教室等の主催講座を実施しているが、町民全体の意識を変容するまでには至らなかった。	A 充分に変容が見られる B 少し変容が見られる C あまり変容が見られない D 抜本的な見直しが必要		
情報を高める	(7)本事業について、十分に広報できているか。(特に、地域への発信は十分にできているか。)	公民館報、公民館HP、地域連携協議会だより等で、その都度広報した。	A 十分に発信できている B 概ね発信「できている C やや不十分に感じられる D 抜本的な見直しが必要		

	評価項目	自己評価(記述)	評価委員による評価	A~Dの記号を記入	評価理由 (具体的に御記入ください)
総合評価	(8)当初設定した事業の目標・目的は達成されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・団体間の連携は強化されたが、町内の新たなネットワーク形成には至らなかった。 ・世代間の交流が進み住民関係が深まり、地域行事や地域活動への参加者が増えた。 ・町民の地域への関心を高め、郷土愛を育むことができた。 ・町内に残る歴史・文化について、大人が学び得た知識を子どもたちへ教授し、次世代へ受け継いでいく取り組みができた。 ・町外からの来訪者と町民とのふれあいの機会を作ることで、蓮池町の良さを感じ取ってもらうことができた。 ・町内外へ広くPRしたことより、イベント参加者や町外からの来訪者の増加へとつながった。 	<ul style="list-style-type: none"> A 十分に達成している B 概ね達成している C やや不十分に感じられる D 抜本的な見直しが必要 		
	(9)事業全体を通して、十分な成果は得られたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀城本丸歴史館との繋がり、県立博物館、県立美術館との交流、そして学校との連携、町民同士のより深い関係が構築できた。 ・地域行事や地域活動に参加する住民の数が、この事業に取り組む前に比べ確実に増加し、町に活気が出てきた。 	<ul style="list-style-type: none"> A 十分に得られている B 概ね得られている C あまり得られていない D 全く得られていない 		
	(10)事業の今後について、どのように進めていくのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業で得た成果物(歴史散策マップ、蓮池公園ガイドブック、紙芝居、郷土史本等)を活用し、町の活性化、発展に結び付けていく。 ・子どもや若い世代を対象とした「地域伝承文化教室」等を通して、次世代を育成していく。 ・イベントや学習活動での地域ボランティアの積極的な登用により、地域人材の発掘、育成を図っていく。 ・蓮池藩初代藩主 鍋島直澄公生誕400年祭を予算面などの大幅な見直し行い実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> A 十分に検討されている B 概ね検討されている C やや不十分に感じられる D 抜本的な見直しが必要 		

★全体を通して、総評をお願いいたします。(戴いた御意見は今後の取り組みに反映させていただきます。)